

朝日中学校だより

笑顔あふれるあたたかい学校

令和3年2月12日発行



【教育目標】 進んで学び、豊かな心をもった、たくましい生徒

「冬を楽しく過ごす」

校長 木ノ瀬隆幸

2月を迎え、一年で最も気温の低い時期となりました。保護者の皆様、地域の皆様、例年よりも多い雪のため、さぞかし難儀されておいでのことと推察いたします。どうか健康に留意されてお過ごしください。



さて、2月の全校朝会で生徒に伝えた話の一部をご紹介します。

雪も多くて太陽も顔を出さないと、人はビタミンDを形成することができず、季節性うつと呼ばれる症状になることがあるそうです。そんな冬の時期は、どのように毎日を過ごしたら良いのでしょうか。

私はこの時期心がけていることが2つあります。1つ目は寒い時期こそ笑って過ごします。そのため、テレビは自分の好きなお笑い芸人(日曜日の笑点とノンスタイルがお気に入りです)をチェックし、極力笑うようにしています。場合によっては、無理してでも笑い顔を作ります。朝起きて、鏡を見て出かける準備をする際に、自分の口角を見つめます。そして両手で口の両端を上げて笑い顔を作ります。今日も一日良い日でありますようにと念じながら。自分の笑っている顔を見たり、誰かの話で笑うと、不思議なもので落ち着きます。楽しいことがなくても、両手を腰に当て、大きな声で「わっはっはっは」と笑ってみましょう。きっと何かが変わります。ユーモアの語源は「にもかかわらず笑うこと」だそうです。どんなに苦しくとも、困難が行く手を阻んでも、私たちは笑うことができれば乗り越えられると言われます。

2つ目は、ものの見方を変えてみることです。雪が降って除雪が大変だなと思うか、除雪していい汗かいてすっきりできると考えるかでは大きく違います。また、雪が降ったり、氷が張ったりするからこそ、できることがあります。例えば、スキーやスノーボード、スケート等、冬のスポーツはその一例ですね。ものの見方を変えることができれば、きっと前向きな意見も出てくることでしょう。

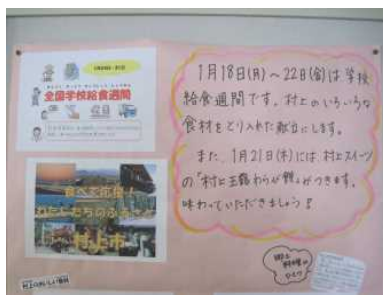
校歌の3番に「降り積もる 雪に耐え 歌声ひびけ 目指す時代の足音を 聞いて力を鍛えなん」という一節があります。冬の寒くてつらい時期を乗り越えて、次の時代に立ち向かっていく。蓄えていた力を一気に解放し、希望の春に向かい、うまくできた自分の姿を思い浮かべて、笑うことを忘れずにみんなと2月を乗り切りましょう。

給食週間 郷土料理を見直そう！

1月18日(月)

この日から5日間は、給食週間でした。「食べて応援！わたしたちのふるさと村上市」をテーマに、地元村上の食材を多く取り入れた献立を実施します。郷土料理を見直す機会となるよう願っています。

この日の献立は、ごはん、鮭のやわはだねぎソース、オータムポエムのマヨネーズあえ、煮立て餅汁、牛乳でした。煮立て餅汁は、山北地区の郷土料理でした。



**令和3年度の生徒数についてお知らせ！
6年生の特別支援学級説明会開催について**

1月22日(金)

村上中等教育学校の合格発表があり、現段階で令和3年度入学予定者数は47名となりました。

この日は午後から6年生の特別支援学級説明会を実施しました。知的学級と情緒学級の授業を見学した後に、コーディネーターの渡邊先生から、教育課程と学校生活等について、参加された児童、保護者、引率の先生に説明させていただきました。

この週には私立高等学校の入試と合格発表がありました。中学校生活も残りわずかです。合格した人も、これから入試に向かう人も、一日一日を大切にしてほしいと思います。



生徒総会に向けた議案書審議/卒業を祝い生徒会企画が始まりました！

1月27日(水)

学級活動は、生徒総会に向けた議案書審議を行いました。各教室で後期の生徒会書記局や委員会、部活動についての活動を振り返り、来年度に向けた提言をまとめました。

今回も「より良い学校生活のための提言」のコーナーがあります。どんな意見が出てくるか、とても楽しみです。

生徒会の委員会活動も25日(月)に、3年生と下級生の間で引き継ぎが行われました。

今日から放送委員会の企画で、給食時の放送は「先生方から送る卒業生へのメッセージ」が始まりました。第一弾は校長から、嵐の「サクラ咲け」をお届けしました。放送担当の生徒の歯切れ良いアナウンスが耳に残っています。全員志望校に合格し、サクラ咲きますように！



地元の6人の方から仕事のお話をいただきました！

1月28日(木)

1年生の総合では、朝日地区にゆかりのある6人の方(漁協組合長、飲食業、農業、保育士、消防士、工芸品作家)から、職業についてのお話をいただきました。この企画も3年目を迎えました。今年も6人の講師の方から2人を選んで、それぞれ20分間ずつ、仕事への思い、やりがい等について、お話を伺いました。講師の方からは、朝日地区への思いもお話しいただきました。その後、準備していた質問や、追加質問に答えていただき、働くことへの理解を深めました。

6人の方の仕事に対する思いや魅力を直接語っていただく、またとない機会となりました。多様な生き方があることや、志さえあればいつでも新しいことを始められること等を学んでほしいと思います。講師の皆様、1年生のために準備していただき、誠にありがとうございました。



マイナス9℃!防寒着着用率40% / 朝日地区市民ギャラリー展のご案内

2月1日(月)

この日の朝はかなり冷え込みました。学校付近の最低気温はマイナス9℃を記録しました。登校バスから降りてくる生徒の防寒着着用率を調べたところ、着ている生徒は31名、着ていない生徒は45名で、着用率は41%でした(全員は調べられませんでした)。この日のように天気が良ければ、運行予定時間にバスは到着しますが、降雪時はそうはいきません。卒業式や公立高校入試までもう少しです。万全の備えをするよう、お声がけ願います。

先月から、朝日総合文化会館にて、朝日地区市民ギャラリー展が開催されています。これまでは、保育園児の作品が展示されていました。2月1日から21日までは、本校生徒の絵画作品を1階に掲示していただくこととなりました。内容は2月期末に学校の各階ホールに掲示したものと同じです。文化会館にお越しの際は、ぜひご覧ください。



生徒会専門委員長と書記局員を任命しました！

2月2日(火)

全校朝会で、生徒会専門委員長6名と書記局員5名を任命しました。規約が変わり、既に選挙で選ばれた会長・副会長・書記長、生徒会担当や2学年部の先生方等と面接をして、専門委員長と書記局員が選ばれました。どうか、書記局として力を合わせて、今年の3年生が進めてくれた新しい取組を更に充実・発展させてほしいと思います。



3年生の総合的な学習の時間は、県介護福祉士会の近藤様より、介護の仕事全般についてお話を聞かせていただきました。

3～4限は1組と2組に分かれて、それぞれ高齢者の疑似体験と車椅子の体験を行いました。

高齢化社会の到来は不可避です。誰もが介護する側、される側になる可能性があります。みんなのもつ優しい心を発揮して、誰もが暮らしやすい社会を実現したいですね。



シリーズ 私の青春時代 第9回

「シリーズ 私の青春時代」、今年度も好評連載中です。第9回は、3年2組主任の渡邊可奈子先生です。

「NO オタ活 NO LIFE」

3年2組主任 渡邊可奈子



中校生の頃



現在

皆さんは「オタク」という言葉にどのようなイメージをもちますか。悪いイメージをもつ人も少しはいるのではないのでしょうか。今回は皆さんに「オタク」について考えてもらいたいです。私がオタクになったのは小学生のとき。属性としては、「サッカーオタク」です。アルビレックス新潟が大好きで、家族で試合に行くことが毎週の楽しみであり、「Jリーグ選手名鑑」が愛読書でした。また、中学生になると「ジャニオタ（ジャニーズオタク）」としての活動も忙しくなりました。（誰が好きだったかは個人的に聞いてください。）オタクとして生きる毎日は本当に楽しく、幸せでした。オタクの定義として大切なのは、「アニメが好き＝オタク」ではないということです。「何かに熱中している人＝オタク」なのです。思うに、人間のほとんどがオタクです。オタクは人生を豊かにしてくれます。人生、毎日が最高に楽しいなんてことはありません。嫌なこともあります。そんな時、心を支えてくれるのはオタク活動です。皆さんには、何か熱中していることがありますか。もし、オタクになれていない人がいたら、さまざまな文化や学問、スポーツに触れて、熱中できるものを見つけてほしいです。そして、皆さんに気を付けてほしいことは、他人のオタク文化を否定しないということです。ただ、否定されないからといって、他人に迷惑をかける行為をすることはあなたの愛するオタク文化の民度を下げることになるので、秩序をもって活動していきましょう。皆さんの人生が豊かなものになることを祈っています。

p.s. 学生のうちは 勉強 > (部活) > オタク活動 です。逆になっているオタクはかっこ悪いですよ。



朝日中学校では、日々の取組をホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://asahi-j.murakami.ed.jp>

